

一般国道9号 安来電線共同溝事業

事業概要

本事業箇所は、商業施設等が立ち並ぶ安来市の商業地域に位置するとともに、安来駅を中心としたあんしん歩行エリアに指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時等における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

令和8年度は、調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)を推進します。

事業箇所図



状況写真



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。

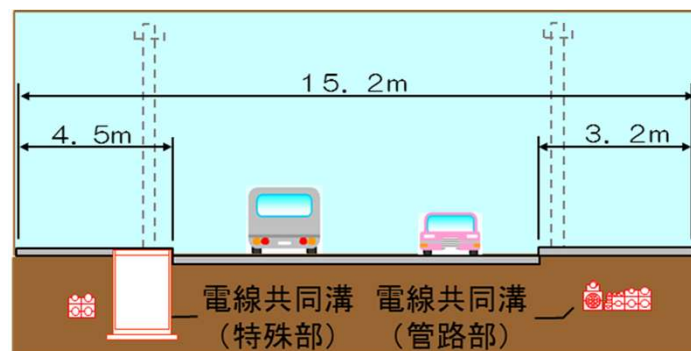


<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

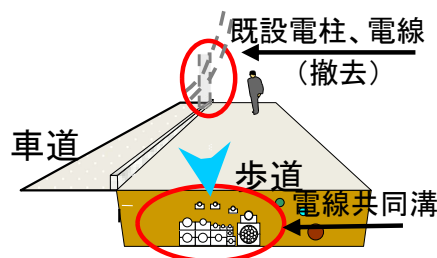


<歩行の支障となる電柱の事例>

標準断面図



《イメージ図》



・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。